



# ま とく れい こう 磨徳励行

自ら考え  
進んで行動し  
学び続ける  
『キラリと光る励徳っ子』



校内に雪だるまがたくさんできました!  
第 37 号  
R6.1.26発行  
文責 永田 功臣

## 防災教育&木工教室 ~森林について考える~

19日(金)に県森林保全課から来ていただいて、4・5・6年生を対象に「防災教育」を実施しました。能登半島地震等、大きな震災が起きている中、自分

たちは今何をすべきか考えるいい機会となりました。特に「**マ**イタイムライン」という、災害が発生したときの自分自身の防災行動計画を作成することにより、地



域の状況や避難所、連絡先等が確認でき、「防災」をより身近なものに感じることができました。

また、森林のはたらきについても説明があり、山地災害を防ぐはたらきを高めるためにいろいろな**治山事業**がなされていることを知ることができました。

午後は、5・6年生を対象に、県林務課のご指導で

「木工教室」を行いました。木材の良さとその活用についての説明があり、その後プランター作りに入りました。子どもたちは、「差し金」を使って寸法を測り



取る作業や板を切る作業に少し苦戦していましたが、協力合って、何とか全員が時間内にプランターを作り上げることができました。

防災教育と併せて、丸一日かけて**森林の恵みと災害**の両方について学びました。森林の中にある励徳小学校校区です。自然とうまく付き合いながら、学んだり、暮らしたりすることの大切さをつくづく感じました。

## お知らせ

とくとく算数でお世話になっている渡邊征喜さんが作製された「竹あかり」をお借りして、保健室前に展示しています。竹や灯りの温もりもいいものです。



## ☆はうかう☆ ~卒業・進級に向けて~

「三学期の過ごし方」  
6年 黒田 那月  
あと少しで中学生。少しさみしくてきんちょうしたり、ワクワクしたりします。今までとはちがう環境でいろいろなことをするのは、とても楽しみです。  
三学期も二学期と同様に委員会をがんばりたいです。たくさんの思い出をつくりたいので、遊びやイベントなどをたくさん企画したいです。そして、みんなの思い出に残る三か月にしたいです。他にも「思ったことを伝える」ということもがんばりたいです。どうしてもためらってしまったり、言えなかったりすることが多いので、「言いたいことをがまんしない」というのが目標です。  
そして、「コミュニケーション能力」を高めて初対面の人にも言いたいことを伝え、「こう言えばよかった」と後悔しないようにしたいです。  
(国語の作文より一部抜粋)

※これからの時代、いろんな人と考えを交流し、課題を解決していく力がとても大切です。中学校進学を機に「考えを伝える力」をさらに磨いてほしいですね。

## もっとサイエンス



「20日未明に日本の無人探査機SLIM(スリム)が月面着陸に成功」というニュースが話題となっています。日本初ということでもうれしい限りです。しかし、昨年4月に日本の民間企業がチャレンジしましたが失敗に終わっています。成功した国も旧ソ連、アメリカ、中国、インド、そして日本とわずかです。

なぜ、月に着陸することが難しいのでしょうか。ちょっと調べてみると、「**大気がないこと。小惑星に比べ大きな重力がはたらくこと**」が要因だそうです。月にぶつけることは簡単だけれど、大気がなくパラシュートが使えないことやデータが少なく逆噴射の加減をシミュレーションできないことなどが、減速しながらゆっくりと降下することの難易度を高めています。

いずれにしても、**未知の部分に挑戦するときは、いつも失敗はつきもの**です。失敗した経験を次に生かすことが大事だと思います。今回も着陸姿勢がくずれたことで、太陽電池が使用できない状況に陥っています。**できた部分とできない部分をしっかりと見つめ、生かすことの大切さ**を私たちに教えてくれています。